

ユーモアスピーチ船橋

2025 (R7) 年 4 月 10 日発行

ジョークは暮らしの調味料・ユーモアは人生のかくし味

219 回船橋ユーモアスピーチ

2025 年 4 月 10 日 (木) 3 分間スピーチ

スピーチテーマ 「寄り道」「留守番電話」
「自由題」「失敗談」

ロングスピーチ

小林 寿美さん：
「フレイル予防のヒント」

3 月 13 日の参加者：山中、川田、長井、後藤、中久木、
原田、岩寺、町田、長嶋 9 名

主催：NPOシニア大楽
ユーモアスピーチ共和国・船橋支部
支部長：長嶋秀治 043-261-5832
発行者：長嶋秀治
編集&事務局：町田雅和
267-0066 千葉市緑区あすみが丘
5-26-7 T/F 043-294-2911
mac555new@ybb.ne.jp
参加費 500 円
見学科 1 回無料
開催日と場所 (原則)
毎月第②木曜日 15:15~17:30
会場 船橋中央公民館 第2集会室
時々第8, 9集会室

前回のロングスピーチ (3 月 13 日)

「日本の伝統の正体」

山中 昇さま

■夫婦同姓

- ・庶民が姓を名乗るようになって約 150 年 明治 8 年・1875 年「平民名字必称義務令」
- ・夫婦別姓になって約 150 年 明治 9 年・1876 年太政官指令「他家に嫁いだ婦女は婚前の氏」120 年
- ・夫婦同姓に変更されて、約 120 年 明治 31 年・1898 年「民法」で夫婦同姓が制定
- ・夫婦同姓だが、夫・妻どちらの姓も選べる 昭和 22 年・1947 年「改正民法」
- ・昭和 50 年・1975 年「選択的夫婦別姓」への民法改正を求める請願が出て今に至る

■正座は正しい座り方か？

- ・正座がかしこまった席での礼儀になって約 400 年
- ・正座が広まって約 300 年
- ・「正座」という呼び名ができて約 150 年
- ・畳の普及と大いに関係する

■喪服の色の論争に白黒をつける

- ・約 1400 年前は喪服は白だった
- ・上流階級で喪服が中国風に「薄墨」になったのが約 1300 年前
- ・喪服が再び白になって約 700 年
- ・上流階級で喪服が西洋風に黒になって約 105 年
- ・一般庶民の喪服も黒になって約 95 年

■桜はパッと散るから美しい？

- ・花と言えば「桜」となって約 1100 年
- ・花見が盛んになって約 300 年
- ・ソメイヨシノ誕生から約 150 年
- ・ソメイヨシノが新種認定されてから約 120 年
- ・「パッと咲いてパッと散る」が強調されてから約 105 年(軍国主義の影響)



3 分間スピーチダイジェスト

テーマ 「春の足音」「認知症予防」

後藤 文男：「私があこがれる凄い先輩」

私は今から 50 年前にブラック企業の Y 製パンに入社しました。この会社は労働条件が厳しく有休が全くとれません。入社 5 年後、妹の結婚式が名古屋であった。当時の私の勤務地は松戸、交代要員もなく夜勤明け朝 6 時に会社を出て新幹線で名古屋に向かい 10 時の結婚式に間に合わせました。

しかし、当時でも堂々と休めることができました。それは、両親が亡くなった時です。

当時当社は全国に 16 工場あるがパソコン等はなく従業員の慶弔管理は各工場の総務課が単独で紙ベース、転勤時の冠婚葬祭のデータ管理もいい加減でした。私が浜松に入社した時、40 代の凄い先輩がいました。今迄に三度転勤しており、その都度、父親の死亡届を提出して休んでいました。70 年代に入り当社もパソコンが導入され、各工場の過去の慶弔、勤給データを集約したところ驚きました。先輩の父親が 3 度死んでいるのです。さすがの本社も怒り浜松へ来て本人を問い詰めました。「この 3 度の死亡届はどれが本物だ」と。すると、先輩はニコッと笑って一言「父はまだ死んでいません。毎日元気に野良仕事しています。」。この先輩、退職時は工場長にまで出世した大物です。

山中 昇：「自由題」

日本人でパスポート所有者がわずか 17% という驚くべき数字が公表されたが、その原因として一番確からしいのは、日本人は観光資源に恵まれているので、海外旅行する必要が無い人が多いことが考えられるという話をしました。

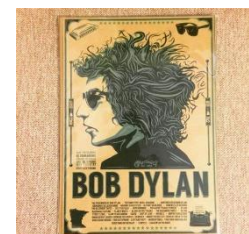
中久木 一乗：「口のケア：歯間ブラシ」

古くは「歯磨きは毎食後一日 3 回」などと言ったが、これは、ブラシを使う事の啓蒙に役立ったが、「食べカスをとるのがオーラルケア」という誤解を広めた。食べ残しを、口に置かない。また「社会生活上のエチケットとして、口の中の食べカスを他人に見せない。これらの意義は大きいが、口腔ケアの真の目的とは違う。口腔ケアでは、寝る前に口の中の細菌を、可能な限り少なくしておくことが最重要である。その為には、寝る前には、口の中のプラークを細分化（出来れば除去）する。物理的に細菌を無くすことは不可。化学的に口の中の細菌を無くすことは無理。なればプラークを大塊でなく小塊として残すようにする。そのために、高齢者で特に役立つのが歯間ブラシである。

長井 みどり「墓参り」

昭和 48 年に義父は生前、自分のお墓を建てました。私が悩みを相談した時は、すぐに返事をしないで、しばらくしてから「みどりさん、気にしないでいいよ、ケセラ。セラだよ」と言うのです。亡くなって 30 年たちました。今年も 3 月のお彼岸には巢鴨のお墓に行って「南無阿弥陀仏、ケセラ、セラ」と拝みます。

岩寺 和子：「ボブディランについて」



町田 雅和：「認知症予防」

今日のスピーチのために、認知症予防のタイトルでお話する内容のメモを作りました。そして次の日の朝、いつも見ない様な夢を見ました。内容は「私が俳諧して、知らない街の知らない人たちに助けられた、のはいいのですが、自分の名前も思い出せなくて困っている」。という夢でした。教訓として、認知症予防には認知症という言葉には近づかないのが一番と感じました。

長嶋 秀治「春の足音」

2 月下旬寒い日が続いたあと、今月に入って急に暖かくなりました。途端に春の足音を聞く前に、いつもの彼女がやってきました。スギハナコさん、漢字で書くと杉花粉さん。最初に目と鼻が反応しました。涙目、くしゃみの連発、急ぎ地元の病院にかけこみ飲み薬と目薬をもらいました。いつもは 2 月中旬に病院に行っていました、今年油断しました。これからしばらく辛い付き合いが続きます。

原田 益次：「自由題」

「今年の 8 月出航予定のピースボート、横浜出航からスエズ運河までの予定を話すつもりが、四人部屋の様子、レストランの位置、屋上のウォーキング回廊、などの説明で時間が来てしまい、まだ岸壁を離れていません。次回は必ず、上海からシンガポール、インドを経てスエズ運河を抜けてエジプトまで語る予定です。7 年前に乗ったことを思い出してわくわくが止まりません。

川田 茂雄：「今年 3 月の歌は『早春賦』です」

私は生涯歌を歌い続けたいと思っています。その継続している証に、一年に一回、3 月にここ船橋で、歌わせて頂いています。歌も余りにも下手クソだと皆様にご迷惑を掛けるのでひと月に一回、プロの先生に 6,600 円の月謝で、チェックして頂いています。

それでは、歌います。今月は 1 番から 3 番まで通して歌います。

1 番～3 番：『春は名のみの 風の寒さや 谷のウグイス歌は思えど、、

(以下、歌詞は割愛)

(歌を歌い終わって)

来年 3 月の歌は、私の大好きな中島みゆきちゃんのヒット曲『糸』を予定しています。

予告：5 月 「船橋ユーモアスピーチの会」

5 月 8 日 (木) 15 時 15 分～ 船橋中央公民館 4 階 第 2 集会室
ロングスピーチ

山田 正國さん：「太平洋戦争終戦 80 周年記念に際して」

スピーチテーマ 「ゴールデンウイーク」、「熱戦」

「自由題」、「失敗談」